

## 就職活動日誌

<内定先>

業種：行政系 - 法人

選考方法：ES→テストセンター→1次面接→最終面接

<就職活動の流れ>

2016年3月

- ・大学内合同説明会や都内の合同説明会(2回)に行き、業界・業種を絞る。
- ※都内の合同説明会へは大学から無料バスが出る為、予約し乗車することも可能！！
- ・SPIの内容が公務員試験と重なる問題が多く、そこまで力を入れて勉強はしなかった。
- ・民間企業と同時に、公務員試験も同時並行で勉強し続けていた。
- ・少数だが、3月中にESを提出しなければならない企業がありESを提出する。

2016年4月

- ・4月に入るとES提出が全ての企業で本格化し、この時点で志望企業が完璧に絞れていた。
- ・公務員試験に向け勉強を続ける。

2016年5月

- ・テストセンターや企業に出向き適性検査が始まる。
- ・公務員試験に向け勉強を続ける。
- ・5月下旬から公務員試験が始まる。

2016年6月

- ・ES+適性検査が通った企業において、1次面接～最終面接が始まる。
- ※6月：面接練習でキャリアセンターを利用した。
- ・公務員試験が続く。
- ・企業の内定を頂く。

2016年7月

- ・就活終了

<就活全体を振り返って>

3年の4月から、公務員を目指し勉強を続けてきた。一方で、時間が経過するにつれて民間企業の魅力を感じ、民間企業も狙う両立を目指した。

しかしながら、現実には甘くなく勉強を疎かにすると公務員試験が全滅する危険や反対に、勉強に時間を取り過ぎると民間企業に受からない状況が待ち受けていた。両立を目指すのならば、相当の覚悟を要するだろう。そこで私は民間企業をできる限り絞った。本当にその企業で働きたいのか、そこで約40年間働き続ける覚悟がどれほどあるのかを自分自身に問いかけ、民間企業(法人含む)5社に絞った。結果的にその方法が上手くいき、就活を無事に終えることができた。

<一言アドバイス>

・民間企業は **ES** を最も大事にしよう！ > 適性検査はその次に大切！

→ESを侮ってはいけません。それが通過しなければ、面接会場へ足を運ばません。

※添削をキャリアセンターで必ずしてもらいましょう。

・面接を恐れる必要はありません。= **事前準備が全て**です。

※事前準備の仕方について、ここでは詳しく記述できないので質問してください。

・ESが通過しない、面接で落とされた……なんてよくある話！むしろ当たり前の世界

→へこたれない！後ろ向きにならない！

<最後に>

就活は人生の中で何十回も経験するイベントではありません。就職**活動**を楽しむことが大切です。その活動は決して辛い活動ではなく、「自分がこれまで何をしてきて、何が得意で、不得意で、どんな自分になりたくて、どんなキャリアを歩みたくて」を考える絶好の機会となります。そうした自問自答の先に、志望企業があるのだと思います。

もし、働きたい企業や仕事が思い描けないとしたら、自分自身と語り合うことをお勧めします。「やりがい・賃金・福利厚生・労働環境・男女比率・続けられそうな仕事・絶対嫌な仕事・知識はないけど興味がある分野…」企業を取捨選択する指標や基準は意外とたくさんあるものです。もちろん資本主義の下、メリットの裏には必ずデメリットがあることを考慮する必要がありますが、まずは自分研究から就活を始めるとピッタリな企業と出会うのではないのでしょうか。